

A black and white portrait of Michel Dalberto, a middle-aged man with short, dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking slightly upwards and to the right with a thoughtful expression. The background is dark and out of focus.

Michel Dalberto

ミシェル・ダルベルト [ピアノ]

パリ生まれ。パリ国立高等音楽院でペルルミュテールに師事。1975年クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール、1978年リーズ国際ピアノ・コンクール優勝。最初の録音であるシューベルトの2つのソナタがアカデミー・シャルル・クロ・グランプリを受賞し、一躍注目を集めた。これまでに、ラインスドルフ/パリ管、コリン・デヴィス/ロイヤル・コンサートヘボウ管、サヴァリッシュ/スイス・ロマンド管、マズア、スラトキン/フランス国立管、インバル/ウィーン響、デュトワ/モントリオール響等と共演。

デビュー当時よりシューベルト、モーツァルトの解釈には定評があり、リスト、ドビュッシー、フォーレ、ラヴェルの演奏も高く評価されている。レコーディングにも積極的で、中でもDENONからの「シューベルト：ピアノ作品全集(14枚組)」は特筆に値する。最近では、「プレイズ・リスト、スクリャービン」(ヴォーグ)や、ルノー・カプソン、エベヌ・カルテット他とのフォーレの室内楽全集の5枚組CDが好評を博す。最新のCDは、「ドビュッシー：ピアノ作品集」(アパルテ)を2015年にリリースした。

1991年から2009年までクララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールの審査委員長を務め、現在は理事。また、2011年からはパリ国立高等音楽院で教鞭をとり、教授として後進の指導にあたっている。日本では、NHK響、東京都響、読売日響、東響、日本フィルと共演し、絶賛を博す。また、2006年に日本で放映のテレビ番組では講師を務め、エスプリに富んだ演奏を披露した。また、1996年にフランス政府から国家功労勲章を授与されている。

【沖縄公演プログラム(予定)】

モーツァルト：ピアノ・ソナタ第11番「トルコ行進曲付き」イ長調 K.331/MOZART, Sonata in A, K. 331 « Alla Turca »

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番「月光」嬰ハ短調 Op.27-2
BEETHOVEN, Sonata n° 14 op. 27 n° 2 in C-sharp minor « Moonlight »

ショパン：バラード第1番 ト短調 Op.23/CHOPIN, Ballade n° 1 in G-minor op. 23

ショパン：スケルツォ第2番 変ロ短調 Op.31/CHOPIN, Scherzo n° 2 in B-flat minor op. 31

ドビュッシー：プレリュード第1集 より「沈める寺」「西風の見たもの」・プレリュード第2集 より「花火」
DEBUSSY, Three Preludes - From Book 1, « La Cathedrale engloutie »
& « Ce qu'a vu le vent d'Ouest » - From Book 2, « Feux d'artifices »